



認知症バリアフリー情報交換会

地域共生社会の実現に向けた企業等との連携の視点

令和5年11月30日（木）

愛知県豊田市 福祉部 福祉総合相談課

副課長 橋本 一磨

・ 多様な価値観を認め合う

・ 地域や社会との多様な「つながり合い」と参加の選択肢を広げる

・ 「生きがいや自分らしさ」は、学び合いから感じられる

・ 「知る」ことから「決める」ことまでを支える

・ 人にやさしいまちづくりを進めていく

・ 市民の「安心な暮らし」に自分事として関わる

- 豊田市役所では、これまでも、職員や各部署が連携し、市民一人ひとりが日々の幸せを実感し続けられる「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めてきました。
- 令和5年10月に本市で開催した「地域共生社会推進全国サミット」を契機に、市民や事業者等の皆さまとともに、さらに取組を推進するという「想い」を職員一同で確認しました。

ともに

つながり合い

- ・ 多様な価値観を認め合う
- ・ 地域や社会との多様な「つながり合い」と「参加の選択肢」を拡げる

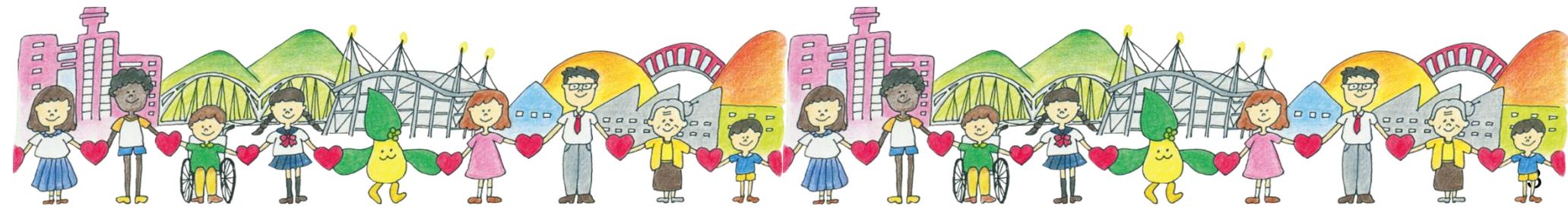
生きがい・自分らしさ

- ・ 「生きがいや自分らしさ」は、学び合いから感じられる
- ・ 「知る」ことから「決める」ことまでを支える

安心な暮らし

- ・ 人にやさしいまちづくりを進めていく
- ・ 市民の「安心な暮らし」に自分事として関わる

つくる



地域共生社会の推進に向けて発進する豊田市役所職員の想い — ミライに向かってブンブン〜 —

豊田市役所では、これまで、職員や各部署が連携し、市民一人ひとりが日々の幸せを実感し続けられる「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めてきました。

豊田市での「地域共生社会推進全国サミット」の開催を契機に、今後、市民やボランティア、活動団体といった地域の方々、法人・事業者等の皆さまとともに、さらに取組を推進するという「想い」を職員一同で確認します。

1 ともに「つながり合い」をつくります



- 近所づきあいや自治区、学区といった、豊田市の良さである地域単位での「つながり合い」づくりを続けます。
- これに加え、多様な価値観を認め合うことにより、健康や文化・スポーツなど興味や共感などを通じた形、学校生活や子育て、介護などライフステージを共有する形、見守りや防災など共通する課題解決に向けた形など、日々の暮らしの中で、地域や社会との多様な「つながり合い」と参加の選択肢を拡げていきます。
- また、子どもや学生、若手の活躍を後押しする世代間の「つながり合い」や、地域の魅力づくりによる関係人口・交流人口といった愛着や目的からの「つながり合い」、経済活動やイノベーションの創出も含めた民間との「つながり合い」など、関係性を拡げる働きかけを進めていきます。

2 ともに「生きがいや自分らしさ」をつくります



- 「生きがいや自分らしさ」は、知ることや気づくこと、他を認めること、考えること、体験すること、他と共有することなどの学び合いから感じられます。学び合いの機会が、生涯にわたり、暮らしの中で身近にある環境をつくっていきます。
- 「生きがいや自分らしさ」を得られるため、その人の状態や暮らしの状況に合わせた形で、自己肯定感を得たり、職場や地域などで役割を担ったりすることができる環境づくりに取り組みます。
- また、誰でもいつまでも、生きがいを感じられ、自分らしく輝き続けるためには、どう暮らしたいのかを自分自身で選択できる環境が重要です。そのために必要となる「知る」ことから「決める」ことまでを支えていきます。

3 ともに「安心な暮らし」をつくります



- 豊田市での「安心な暮らし」は、コミュニティでの「つながり合い」が基盤です。一人ひとりの暮らしや、都市と山村など地域の多様性を認めながら、自治区や地区コミュニティ会議、地域会議などによる地域の活性化や課題解決に今後も取り組んでいきます。
- 併せて、すべての市民が安心して暮らすことのできる住まいや街並み、環境など、人にやさしいまちづくりを進めていきます。
- そして、このような地域での暮らしの中で、仮に困りごとを抱えたとしても、身近な地域から専門的な支援に適切につながることで、「安心な暮らし」を継続することができます。
市民が日ごろから「つながり合う」ことができるようにするとともに、単に、子どもや高齢者といった年齢や、障がい者や生活困窮者といった制度で区切らず、豊田市役所の各部署や各相談支援機関が、市民の「安心な暮らし」に自分事として関わる体制を充実させていきます。

2023年10月13日
豊田市役所職員一同

